



地域課題の解決を目指して 石岡二高生による猪肉を使った 新メニュー試食会開催

石岡二高は地域課題の解決を目指した学習活動に力を入れており、県教育委員会から新しい価値を創造する人材を育成することを目指した「地域魅力化型」の重点校に指定されています。今回、生徒たちは農作物への獣害に着目し、捕獲したイノシシを活用した「猪バーガー」と「猪ラーメン」を考案しました。試食を行った関係者からは「どの料理も完成度が素晴らしい」とのお褒めの言葉をいただきました。新メニューを活かした生徒たちの今後の活動に期待です。



▲バーガーやラーメンに使用された猪肉は、味付けや調理方法が工夫されたものが提案されました。



▲サッカー教室の様子。参加した子どもたちは、サッカー教室終了後に篠崎選手と交流を深め、サインをいただくなど有意義な時間を過ごしました。

子どもたちの夢を全力応援 石岡市出身の現役Ｊリーガー によるサッカー教室

プロサッカークラブアスルクラロ沼津所属の篠崎輝和選手によるサッカー教室が開催されました。篠崎選手は石岡市出身（石岡小一国府中一鹿島ユース一産業能率大）で小学生時代はFC石岡でプレーをしていました。参加した子どもたちはサッカー技術を学ぶとともに、篠崎選手との交流を楽しみました。篠崎選手の大活躍とアスルクラロ沼津のJ2昇格、このサッカー教室から未来のＪリーガーが誕生することを願います。

世代を超えた地域交流を 元真地地区にてふれあい交流 会が開催されました

元真地地区では令和6年に子ども会および老人会が解散したことを受け、運営資金を有効活用するために町内会にてふれあい交流会を開催しました。交流会当日は輪投げや投扇興を行った結果で順位を競い合い、子どもからお年寄りまで幅広い年代の方々が交流を深めました。

地域間の関係が年々希薄になる中、元真地地区では地域の方々が自由に参加できるミニサロンの立ち上げを行うなど、地域間の交流を大切にしています。



▲寒い日にも関わらず、元真地地区在住の多くの人々が集まり、輪投げや投扇興を楽しみました。



防災への意識を高めよう 令和7年石岡市消防出初式 が開催されました

消防出初式は消防への理解や関心を広げ、防災意識を啓発することを目的としています。

1月11日に茨城電設スポーツアリーナ石岡（旧石岡運動公園）で行われた式典では、長年にわたり市の消防業務に貢献された消防団員が表彰されました。

御幸通りで行われた消防パレードには多くの人が訪れ、消防本部や消防団の車両が通り過ぎるたびに大きな声援を送っていました。パレードの後には消防車両と記念撮影を行う子どもたちなどで賑わいました。



▲消防パレードで御幸通りを進む石岡市消防団の皆さん。



▲高校生のアドバイスを受けながら「ぶよぶよ」を楽しむ参加者の皆さん。

ゲームで楽しく元気に交流 高齢者向けのeスポーツ体験会 が開催されました

高校生のボランティア参加や、高齢者との交流、認知症予防などを目的とした「eスポーツ体験会」が1月11日にふれあいの里石岡ひまわりの館で開催されました。体験会を主催した実行委員会は、市内の県立石岡第一、石岡第二、石岡商業高等学校の生徒5人です。5人は4カ月間かけて準備し、当日は4グループに分かれて参加者へのアドバイスをを行いました。24人の参加者は高校生の説明を受けながら、リズムゲーム「太鼓の達人」とパズルゲーム「ぶよぶよ」を楽しみました。

SDGs 私募債で地域貢献 株式会社いっしんより 石岡市へ屋外用ベンチが寄贈

株式会社筑波銀行が取り組む、寄贈サービス付きSDGs 私募債「地域の未来応援債」を活用し、株式会社いっしん（本社：かすみがうら市稲吉）から、屋外用ベンチ2基が当市へ寄贈されました。株式会社いっしん 代表取締役社長の川島正行様は「駅のにぎわいにつながるように、皆さまに活用してもらえたら嬉しい」とお話されました。

ベンチは石岡駅西口交流施設に設置し、利用者の憩いの場となるよう、活用させていただきます。



▲（写真左から）谷島市長、株式会社いっしん 代表取締役社長 川島正行様、株式会社筑波銀行 千代田支店 支店長 植田啓二様